

2012-04

学会通信

平成 24 年 04 月 14 日

NO.74

工業経営研究学会
Association for the Study of
Industrial Management (Japan)

第 27 回全国大会について

開催校挨拶

今年の全国大会は、8月31日から9月2日までの3日間、下記の要領で佐賀大学にて開催いたします。

学会長の方針は「工業経営研究と日本企業の再興」ですが、東日本大震災で多くの被害をこうむった製造企業の再興に向け、この3年間学会としてどのような貢献ができるのかについて多くの検討課題があります。

そこで、本大会の統一論題は『大災害の時代、工業経営研究学は「何ができるのか」・「何をしなければいけないのか」』とし、地域社会とのかかわり、新エネルギーによるインフラの多様化、中小企業の再生などについて論じていただく予定です。

見学では、「佐賀大学海洋エネルギー研究センター」を視察いただき、特別講演とあわせて災害時における「海洋エネルギーの資源化」について感じ取っていただければと思います。

佐賀県は良質な温泉や有名な陶磁器の里、そして吉野ヶ里遺跡など、多くの観光地があります。学会の後にはゆっくりと佐賀の観光も楽しんでいただければと思います。

多数の会員の皆様の研究報告やご参加を心よりお待ちしております。

第 27 回全国大会準備委員会委員長 羽石寛志 (佐賀大学)

- ・大会日程 2012年8月31日(金)～9月2日(日)
 - 8月31日(金) 見学会(佐賀大学海洋エネルギー研究センター)、理事会
 - 9月1日(土) 自由論題報告、特別講演(門出政則・同センター長、ほか)
会員総会、懇親会、理事会
 - 9月2日(日) 統一論題報告・シンポジウム、研究分科会、理事会
- ・大会会場 佐賀大学本庄キャンパス 教養教育運営機構棟、ほか
(佐賀市本庄町1 JR長崎本線佐賀駅下車 バス15分)
- ・統一論題 大災害の時代、工業経営研究学は「何ができるのか」「何をしなければいけないのか」

第 27 回全国大会 報告者募集

統一論題と自由論題の報告者を募集します。なお、統一論題については、自薦・他薦を問いません。ふさわしい方をご推薦いただき、様式は問いませんので、事務局までご一報ください。

(1) 報告者応募の締め切り 5月31日(木)

応募者多数の場合は大会準備委員会にて選考させていただきますので、ご了承ください。

応募内容・方法(原則として、メールで送付してください)

① 報告タイトル

② 報告者氏名・所属

(共同報告の場合は報告者すべての氏名、所属を明記のこと)

③ 報告要旨 (400字程度、キーワード5つ、書式は自由)

(2) 大会予稿集原稿の締め切り 7月15日(日)必着

(3) 報告者には、報告依頼文書とともに原稿執筆要領を6月上旬にお送りします。

応募先 追手門学院大学経営学部 地代研究室

〒567-8502 大阪府茨木市西安威 2-1-15

E-Mail: jidai@res.otemon.ac.jp

第9期第1回理事会 (報告)

3月21日、工場見学会(川村義肢株式会社)の後に、常翔学園大阪センターにおいて午後4時50分から19時30分まで理事会を開催し、審議・報告事項等について審議を行った。

議長: 羽石寛寿(会長、摂南大学)

出席者: 羽石寛寿、林正樹、地代憲弘、小泉國茂、秋野晶二、大平義隆、藤原篤志、坂本清、

所伸之、近藤高司、黒澤敏朗(敬称略)

議事:

《報告事項》

【1. 会長方針、今期理事会のテーマ(基本方針・理念)の確認 [羽石】

第9期理事会の方針として「工業経営研究と日本企業の再興」をテーマとすること、理事会の取り組むべき課題として、財務の見直し、学会誌の改善、法人会員・若手会員の増大を基本とする学会の活性化、産学共同研究の充実、新規部会設立の必要性、等が述べられた。

【2. 理事・幹事の役割分担の確認 [羽石】

理事会の構成については、学会HPにてご案内いたします。

【3. 会員移動(入退会の報告) [黒澤】

2012年1月~3月に以下の入退会申請があり、3月21日に承認された(敬称略)。

・新規入会 田口直樹氏(大阪市立大学)

・退会 見市晃氏(追手門学院大)、片岡信之氏(桃山学院大)、村杉健氏(大阪工大)

なお、今後の入退会者の審議に関しては、メーリングリストを活用し月1回程度でまとめて審議する形式をとることが提案され、承認された。

【4. 会員名簿発行について [黒澤】

「2012年度秋を目途に新名簿を作成したい」との報告があった。

【5. 第27回全国大会 [地代】

「第27回全国大会の開催準備についての報告があった。

【6. 学会誌投稿論文規定超過分の費用徴収について [秋野】

秋野理事より、学会誌第25号投稿論文規定超過分の費用徴収についての報告があった。

《審議事項》

【1. 2011年度会計(決算案) [地代】

2011年度会計の決算案について報告があり、審議の結果これを承認した。

【2. 2012年度会計(補正予算案) [黒澤】

2012年度補正予算案について提案があり、審議の結果これを承認した。

【3. 学協会サポートセンターへの会員事務委託の更新 [黒澤]

学協会サポートセンターへの会員委託業務の更新について提案があり、審議の結果これを承認した。

【4. 学会誌の刊行の見直しに関する提案 [黒澤]

学界誌発行に関わる諸経費について、印刷業者に対する問い合わせ結果が報告され、今後継続的に審議していくこととした。

【5. 役員選挙の方式の見直しに関する提案 [地代]

本項は、次項（審議事項6）と合わせて審議された。

「自然災害に伴い総会・理事会が開催できない場合にそなえ、現行の役員選挙方式を見直す必要がある」などの提案がなされ、今後継続的に審議していくこととした。

【6. 会計年度の変更について]

前項（審議事項5）と合わせて審議されたため、ここでは省略する。

【7. 学会活性化について]

7-1. 若手研究者・後継者の育成（助成・表彰） [林]

新たに「院生優秀報告賞」や「シニア会員制度」の創設が提案され、今後継続的に審議していくこととした。

7-2. 研究部会、地方部会の活性化 [地代]

「若手会員が積極的に参加のできる研究部会、あるいは都市圏ではなく地方部での研究部会設立が必要である」などの提案がなされ、今後継続的に審議していくこととした。

7-3. 産学連携の活性化 [坂本]

『企業にも明確なメリットが見える』学会運営が必要である」などの提案、および「担当者を定め、学会誌に企業紹介を定期的に設ける」などの提案があり、今後継続的に審議していくこととした。

《その他》

【1. 学会賞・奨励賞候補の決定時期について [坂本]

学会賞・奨励賞の決定について、現状を加味した上で規定を変更したい」などの提案があり、現実的な対応をとりつつ今後継続的に審議していくこととした。

【2. 会員の業績紹介について [羽石]

「会員が著書を刊行した場合、学会通信等で紹介したい」との提案がなされ、今後継続的に審議していくこととした。

【3. 学会誌の表紙の変更について [小泉]

学会誌の表紙が変更になるとの報告があった。

【4. 経営関連学会協議会評議員会報告]

2012年3月20日開催の経営関連学会協議会第2期第5回評議員会についての報告があった。

以上

東日本部会 活動報告

1. 東日本部会研究会

日 時：2012年1月7日 13:15～17:30

会 場：駒澤大学 大学会館 246

参加者：18名

(1) 藤原 篤志氏（駒澤大学経営学部）

「イギリスにおける生産管理の展開と労働—労働組合の役割との関連で—」

- (2) 富野 貴弘氏 (明治大学商学部) 「トヨタ的サプライチェーンマネジメントの考察」
- (3) 西岡 久充氏 (和光大学経済経営学部)
「産学連携による企業WEBサイトの企画・構築・運営をとおした実践型教育・研究について」
2. 2011年度ベトナム・カンボジア企業視察研究発表会 (グローバルゼーション研究分科会と共同開催)
次回の研究会は6月2日(土)に開催する予定ですが、詳細はまだ確定しておりません。詳細が決まりましたら、学会ホームページ等でご案内させていただきます。

西日本部会 活動報告

1. 西日本部会見学会
日 時：2012年3月21日 13:15～17:30
会 場：川村義肢(株) 本社工場、 参加者：15名
2. 研究会(予定)
日 時：4月21日(土) 14～17時
会 場：広島国際大学広島キャンパス
報告者：由井 浩氏(龍谷大学)、森川 譚雄氏(広島修道大学名誉教授)

北海道部会 活動報告

1. 北海道部会研究会
日時：1月28日(土) 14:30～18:00
場所：北海学園大学7号館D101教室
(1) 中山 健一郎氏(札幌大学) 「自動車委託生産メーカーの生成・定着・発展の論理」
(2) 大平 義隆氏(北海学園大学) 「バーナード理論の状況合理性の視点」
(3) 17:40～18:00 運営委員会、 18:00～ 懇親会、 参加者 12名
2. 見学会 7月に釧路地方の水産関連機器メーカーの工場見学を行う予定

環境研究分科会・循環型社会研究分科会 活動報告

1. 研究会
日時：2011年11月27日(日) 13.30～16.50
会場：追手門学院 大阪城スクエア大手前ホールB
(1) 八木 俊輔氏(神戸国際大学)
「クライシスマネジメント・リスクマネジメントと持続可能なマネジメント—環境経営とCSRの統合理論の構築を目指して—」
(2) 鈴木 幸毅氏(東京富士大学)「〈生産的消費と消費的生産の統一〉としての環境経営学—環境経営と環境社会責任、そして環境経営学—」
参加者は22人。
(3) 懇親会(17.20～19.00) 会場は和民大手前店 参加者14名

グローバルゼーション研究分科会(予定)

1. ベトナム・カンボジア企業視察研究発表会(予定)

日時：6月2日（土） 午後1時より、 場所：中央大学 後楽園キャンパス

2. 海外企業視察の予定

訪問先：トルコ

趣 旨：トルコは、西洋と東洋の中間に位置していることから、トルコからヨーロッパ市場を狙う企業が進出している。また最近では、トルコは中国に次ぐ高い成長率を示しており、特に個人消費が堅調なことから、消費地としても注目され始めている。現在、視察先として、トヨタ紡織や現代自動車等の他、現地企業、ジェトロ等にアプローチしている。

日 程：基本コース 8月19日（日）～26日（日）

費 用：基本コース 成田発 ￥260,000、 関空発 ￥270,000
金額は、参加人数等によって多少変動します。

その他：これまで参加された方、及びグローバルイノベーション研究分科会関連の方、学会役員等の方々には、近々ピコツアーから案内状をお送りします。新たに参加したい方、あるいは案内状が届かないという方は、下記アドレスへ案内状をご請求下さい。

ピコツアー 伊藤様アドレス：ito@picotour.co.jp

学会誌バックナンバー欠番号の寄贈のお願い

事務局では学会誌を保管していますが、第2号から第6号までが欠番になっていますので、状態の良い冊子を寄贈していただける方を募っています。学会事務局までご連絡ください。

会員名簿の発行のお知らせ

本学会では3年に一度、会員名簿を発行しています。本年はその年にあたりますので、発行の準備を進めています。まもなく、会員データを更新するためのアンケート用紙をお送りしますので、期限までにご返送ください。なお、今後、学会通信はメールやホームページを活用することによって簡潔な内容のものにし、経費の節減に努めることを検討していますので、メールアドレスの登録をお願いします。

※学会事務局が以下の通り変更になりました。ご注意ください。

工業経営研究学会 学会通信 74号（12-4） 2012.4.14

発行人 羽石 寛寿 編集担当 黒澤 敏朗

学会事務局 摂南大学経営学部 黒澤研究室内

〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8

Tel: 072-839-9174

E-Mail:kurozawa@kjo.setsunan.ac.jp

HP: <http://asimj.jp/wifky/wifky.cgi>

会員事務（会費納入、住所管理、学会通信・学会誌の郵送など）担当

（有）学協会サポートセンター

〒231-0023 横浜市中区山下町194-502

Tel: 045-671-1525

E-Mail:scs@gakkyokai.jp